

CQ8-2：高齢者

【背景】

COVID-19 流行期において、医療機関および診療体制に様々な影響が続いている。特に救急医療体制にも大きな影響が生じたと推測され、そのことが、救急搬送の多数を占める高齢の傷病者の迅速かつ適切な救急医療機関への搬送と受入れに与えた影響を評価することは重要である。

本解析では、本府において救急搬送された65歳以上の高齢者傷病者の搬送状況や、特に事故種別のうち急病で搬送された高齢者の転帰等について検討した。

【方法】

2019年、2022年のそれぞれ1月1日から12月31日までのクリーニングデータを用い、転院症例は除外した。COVID-19流行期以前（2019年）とCOVID-19流行期以後（2022年）とで比較を行った。対象者は、高齢者（65歳以上）の救急搬送傷病者として、特に事故種別のうち急病として搬送された入院傷病者についての転帰・診断名等を評価した。

<アウトカム>

アウトカムは、以下の救急搬送に関わる評価指標の数とした（転院症例は除く）。

救急搬送件数（年別）

事故種別件数（年別）

急病件数および急病入院件数（年別・月別）

赤1（高緊急度）件数（急病および急病入院症例、年別・月別）

搬送困難症例件数（急病および急病入院症例、年別・月別）

入院後21日時点での転帰（入院継続・退院・転院・死亡）件数（急病入院症例、年別・月別）

急病入院症例のICD-10確定診断名別件数（年別・月別）*

急病入院死亡症例のICD-10確定診断名別件数（年別・月別）*

*新型コロナウイルス感染症はICD-10分類でUに分類される。

<統計解析>

2019年の罹患率（各アウトカム数/本府の総人口）（IR: Incidence rate）に対する、2022年のIRから罹患率比（IRR: Incidence rate ratio）とその95%信頼区間（CI: confidence interval）を、年別ならびに月別に算出し比較した。なお、ICD-10確定診断名でUについては2019年に発生した症例がゼロであったため、2020年を基準としたIRRを算出した。

1) 高齢者の事故種別件数および急病搬送・急病入院件数

高齢の救急搬送傷病者における事故種別件数の経年変化を示す（図表 78）。急病搬送件数は、COVID-19 流行以前の 2019 年で 202,068 件、COVID-19 流行期の 2022 年 214,048 件であった。2019 年と比較して、2022 年の IRR は 1.06 (95% CI: 1.05-1.07) と有意な増加を認めた。一般負傷についても同様の傾向を認めた。その一方で、交通事故による出動件数は 2019 年の 10,145 件と比較して、2022 年は 9,371 件 (IRR 0.92; 95% CI 0.90-0.95) と有意に減少していた。

(図表 78) 事故種別件数

事故種別	2019年	2022年	IRR(95% CI)
火災	153	134	0.88 (0.69-1.11)
自然災害	8	2	0.25 (0.03-1.25)
水難	21	15	0.71 (0.34-1.45)
交通事故	10,145	9,371	0.92 (0.90-0.95)
労働災害	833	695	0.83 (0.75-0.92)
運動競技	129	109	0.84 (0.65-1.10)
一般負傷	52,143	53,827	1.03 (1.02-1.04)
加害	426	353	0.83 (0.72-0.96)
自損行為	435	426	0.98 (0.85-1.12)
急病	202,068	214,048	1.06 (1.05-1.07)
その他	75	48	0.64 (0.44-0.93)
合計	266,436	279,028	1.05 (1.04-1.05)

なお、急病搬送件数の月別の評価においては、2019年7月の16,765件と比較して、第七波に相当する2022年7月では20,049件（IRR 1.20; 95% CI 1.17-1.22）、2019年12月の17,593件と比較して、第八波に相当する2022年12月では20,994件（IRR 1.19; 95% CI 1.17-1.22）と有意な増加を認めた（図表79）。急病入院件数は、COVID-19 禍以前の2019年で106,831件、2022年115,174件であった。2019年と比較して、2022年のIRRは1.08（95% CI: 1.07-1.09）と有意な増加を認めた。

（図表79）搬送件数、入院患者数（急病）

急病 搬送件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年：急病	20,870	15,840	15,957	15,653	16,214	15,415	16,765	18,926	16,385	15,943	16,507	17,593	202,068
2022年：急病	19,533	16,599	16,531	15,984	16,413	16,861	20,049	19,758	16,909	17,149	17,268	20,994	214,048
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	0.94 (0.92-0.95)	1.05 (1.03-1.07)	1.04 (1.01-1.06)	1.02 (1.00-1.04)	1.01 (0.99-1.03)	1.09 (1.07-1.12)	1.20 (1.17-1.22)	1.04 (1.02-1.07)	1.03 (1.01-1.05)	1.08 (1.05-1.10)	1.05 (1.02-1.07)	1.19 (1.17-1.22)	1.06 (1.05-1.07)
急病 入院件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年：急病 入院件数	10,448	8,266	8,606	8,487	8,749	8,292	8,942	9,620	8,676	8,597	8,841	9,307	106,831
2022年：急病 入院件数	10,734	9,010	9,068	8,793	8,929	9,061	10,207	9,967	9,109	9,278	9,693	11,325	115,174
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	1.03 (1.00-1.06)	1.09 (1.06-1.12)	1.05 (1.02-1.09)	1.04 (1.01-1.07)	1.02 (0.99-1.05)	1.09 (1.06-1.13)	1.14 (1.11-1.17)	1.04 (1.01-1.07)	1.05 (1.02-1.08)	1.08 (1.05-1.11)	1.10 (1.07-1.13)	1.22 (1.18-1.25)	1.08 (1.07-1.09)

2) 急病搬送ならびに急病入院となった高齢者の赤1件数ならびに搬送困難件数

高齢者の急病搬送赤1件数は、2019年の18,571件と比較して、2022年は24,033件（IRR 1.29; 95% CI 1.27-1.32）と増加した（図表80）。月別の評価においては、2019年8月の1,328件と比較して、第七波に相当する2022年8月では2,127件（IRR 1.60; 95% CI 1.49-1.72）と大きく上昇した。急病入院の赤1件数についても同様の傾向を認めた。

（図表80）搬送件数、入院患者数（急病・赤1）

急病 搬送件数 赤1	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年：急病	2,308	1,733	1,711	1,529	1,524	1,284	1,298	1,328	1,304	1,329	1,526	1,697	18,571
2022年：急病	2,494	2,611	2,069	1,759	1,700	1,584	1,805	2,127	1,685	1,836	1,888	2,475	24,033
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	1.08 (1.02-1.14)	1.51 (1.42-1.60)	1.21 (1.13-1.29)	1.15 (1.07-1.23)	1.12 (1.04-1.20)	1.23 (1.15-1.33)	1.39 (1.29-1.49)	1.60 (1.49-1.72)	1.29 (1.20-1.39)	1.38 (1.29-1.48)	1.24 (1.16-1.32)	1.46 (1.37-1.55)	1.29 (1.27-1.32)
急病 入院件数 赤1	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年：急病 入院件数	1,542	1,182	1,227	1,083	1,106	895	903	925	931	943	1,062	1,144	12,943
2022年：急病 入院件数	1,603	1,719	1,330	1,200	1,144	1,126	1,207	1,421	1,151	1,229	1,286	1,629	16,045
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	1.04 (0.97-1.12)	1.45 (1.35-1.57)	1.08 (1.00-1.17)	1.11 (1.02-1.20)	1.03 (0.95-1.12)	1.26 (1.15-1.38)	1.34 (1.23-1.46)	1.54 (1.41-1.67)	1.24 (1.13-1.35)	1.30 (1.20-1.42)	1.21 (1.12-1.31)	1.42 (1.32-1.54)	1.24 (1.21-1.27)

高齢者の急病搬送困難件数の年別・月別の変化を示す(図表 81)。搬送困難件数は、COVID-19 禍以前の 2019 年で 4,655 件、2022 年 22,790 件であった。2019 年と比較して、2022 年の IRR は 4.90 (95% CI: 4.74-5.05)と経年的に IRR は大きくなった。月別の評価では、2019 年と比較して、2022 年はいずれの月も搬送困難件数は増加したが、特に 2022 年の第七波に相当する 7 月(IRR 7.95; 95% CI 7.02-9.03)、8 月(IRR 9.16; 95% CI 8.23-10.23)、第八波に相当する 12 月(IRR 7.85; 95% CI 7.01-8.81)に IRR は著明に大きくなった。急病入院の搬送困難件数についても同様の傾向を認めた。

(図表 81) 搬送困難件数、入院患者数 (急病)

急病 搬送困難件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年: 急病	990	510	385	347	331	254	280	368	281	254	315	340	4,655
2022年: 急病	2,047	3,512	2,401	1,209	983	675	2,226	3,372	1,514	925	1,258	2,668	22,790
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	2.07 (1.92-2.23)	6.89 (6.27-7.57)	6.24 (5.60-6.96)	3.48 (3.09-3.94)	2.97 (2.62-3.37)	2.66 (2.30-3.08)	7.95 (7.02-9.03)	9.16 (8.23-10.23)	5.39 (4.74-6.14)	3.64 (3.17-4.20)	3.99 (3.53-4.53)	7.85 (7.01-8.81)	4.90 (4.74-5.05)
急病 搬送困難 入院件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年: 急病 入院件数	551	297	216	189	195	138	156	196	144	128	168	199	2,577
2022年: 急病 入院件数	1,260	2,112	1,512	725	606	384	1,246	1,860	941	567	779	1,605	13,597
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	2.29 (2.07-2.53)	7.11 (6.29-8.06)	7.00 (6.07-8.11)	3.84 (3.26-4.53)	3.11 (2.64-3.67)	2.78 (2.28-3.41)	7.99 (6.76-9.50)	9.49 (8.19-11.05)	6.53 (5.48-7.84)	4.43 (3.65-5.41)	4.64 (3.92-5.51)	8.07 (6.96-9.39)	5.28 (5.06-5.51)

急病搬送入院症例における転帰の年別・月別の変化を示す (図表 82)。退院件数は、2019 年の 60,241 件と比較して、2022 年は 60,939 件(IRR 1.01; 95% CI 1.00-1.02)とほぼ同じであった。入院継続件数は 2019 年と比較し、2022 年は有意に増加を認めた (IRR 1.11; 95% CI 1.09-1.12)。死亡件数は、2019 年の 8,591 件と比較して、2022 年は 11,050 件 (IRR 1.29; 95% CI 1.25-1.32)と有意な上昇を認めた。月別の評価では、2019 年と比較して、2022 年はいずれの月も死亡件数は増加したが、特に第六波に相当する 2022 年 2 月 (IRR 1.63; 95% CI 1.49-1.79)、第七波に相当する 8 月 (IRR 1.54; 95% CI 1.39-1.71)、第八波に相当する 12 月 (IRR 1.44; 95% CI 1.32-1.58)に IRR は大きかった。

(図表 82) 転帰 (急病)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年: 入院継続	3,167	2,525	2,732	2,712	2,568	2,474	2,625	2,745	2,581	2,606	2,652	2,858	32,245
2022年: 入院継続	3,402	2,858	3,023	2,775	2,716	2,697	3,008	2,908	2,911	2,817	3,111	3,501	35,727
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	1.07 (1.02-1.13)	1.13 (1.07-1.19)	1.11 (1.05-1.17)	1.02 (0.97-1.08)	1.06 (1.00-1.12)	1.09 (1.03-1.15)	1.15 (1.09-1.21)	1.06 (1.01-1.12)	1.13 (1.07-1.19)	1.08 (1.02-1.14)	1.17 (1.11-1.24)	1.22 (1.17-1.29)	1.11 (1.09-1.12)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年: 退院	5,802	4,570	4,676	4,709	4,997	4,768	5,215	5,731	4,963	4,802	4,872	5,136	60,241
2022年: 退院	5,297	4,216	4,531	4,671	4,885	5,101	5,791	5,379	4,809	5,134	5,147	5,978	60,939
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	0.91 (0.88-0.95)	0.92 (0.88-0.96)	0.97 (0.93-1.01)	0.99 (0.95-1.03)	0.98 (0.94-1.02)	1.07 (1.03-1.11)	1.11 (1.07-1.15)	0.94 (0.90-0.97)	0.97 (0.93-1.01)	1.07 (1.03-1.11)	1.06 (1.02-1.10)	1.16 (1.12-1.21)	1.01 (1.00-1.02)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年: 転院	514	428	436	394	498	471	478	529	472	506	526	502	5,754
2022年: 転院	833	722	555	539	583	551	621	732	562	517	567	676	7,458
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	1.62 (1.45-1.81)	1.69 (1.49-1.91)	1.27 (1.12-1.45)	1.37 (1.20-1.56)	1.17 (1.04-1.32)	1.17 (1.03-1.33)	1.30 (1.15-1.47)	1.38 (1.24-1.55)	1.19 (1.05-1.35)	1.02 (0.90-1.16)	1.08 (0.96-1.22)	1.35 (1.20-1.51)	1.30 (1.25-1.34)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019年: 死亡	965	743	762	672	686	579	624	615	660	683	791	811	8,591
2022年: 死亡	1,202	1,214	959	808	745	712	787	948	827	810	868	1,170	11,050
IRR (2022年vs2019年) (95% CI)	1.25 (1.14-1.36)	1.63 (1.49-1.79)	1.26 (1.14-1.39)	1.20 (1.08-1.33)	1.09 (0.98-1.21)	1.23 (1.10-1.37)	1.26 (1.13-1.40)	1.54 (1.39-1.71)	1.25 (1.13-1.39)	1.19 (1.07-1.31)	1.10 (1.00-1.21)	1.44 (1.32-1.58)	1.29 (1.25-1.32)

急病搬送入院症例における ICD-10 コードに基づく確定診断名別の経年変化を示す(図表 83)。新型コロナウイルス感染症(U)入院件数は、2020年の1,015件、2021年で3,933件、2022年12,791件であった。感染症および寄生虫症(A+B)および尿路性器系の疾患(N)については、2019年と比較して、2022年では有意な増加を認めた。

(図表 83) 確定時診断名

診断名 (ICD-10)	2019年	2020年	IRR ^a (95% CI)	2021年	IRR ^b (95% CI)	2022年	IRR ^c (95% CI)
感染症および寄生虫症 (A+B)	3,578	3,663	1.02 (0.98-1.07)	3,826	1.07 (1.02-1.12)	4,046	1.13 (1.08-1.18)
新生物 (C)	6,380	6,203	0.97 (0.94-1.01)	6,442	1.01 (0.98-1.05)	6,309	0.99 (0.95-1.02)
血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害(D)	1,414	1,455	1.03 (0.96-1.11)	1,463	1.03 (0.96-1.11)	1,444	1.02 (0.95-1.10)
内分泌,栄養および代謝疾患 (E)	5,218	5,142	0.99 (0.95-1.02)	4,784	0.92 (0.88-0.95)	5,104	0.98 (0.94-1.02)
精神および行動の障害 (F)	478	426	0.89 (0.78-1.02)	317	0.66 (0.57-0.77)	306	0.64 (0.55-0.74)
神経系の疾患 (G)	3,924	3,563	0.91 (0.87-0.95)	3,373	0.86 (0.82-0.90)	3,310	0.84 (0.81-0.88)
眼および付属期の疾患 (H00-59)	24	33	1.38 (0.79-2.43)	16	0.67 (0.33-1.31)	23	0.96 (0.52-1.77)
耳および乳様突起の疾患 (H60-96)	2,088	1,950	0.93 (0.88-0.99)	1,794	0.86 (0.81-0.92)	1,682	0.81 (0.76-0.86)
循環器系の疾患 (I)	25,753	25,371	0.99 (0.97-1.00)	25,404	0.99 (0.97-1.00)	26,112	1.01 (1.00-1.03)
呼吸器系の疾患 (J)	22,694	19,227	0.85 (0.83-0.86)	18,619	0.82 (0.80-0.84)	19,238	0.85 (0.83-0.86)
消化器系の疾患 (K)	13,135	12,812	0.98 (0.95-1.00)	13,114	1.00 (0.97-1.02)	13,232	1.01 (0.98-1.03)
皮膚および皮下組織の疾患 (L)	1,012	1,062	1.05 (0.96-1.14)	1,070	1.06 (0.97-1.15)	1,084	1.07 (0.98-1.17)
筋骨格系および結合組織の疾患 (M)	3,213	3,246	1.01 (0.96-1.06)	3,020	0.94 (0.89-0.99)	2,909	0.91 (0.86-0.95)
尿路性器系の疾患 (N)	7,647	8,297	1.09 (1.05-1.12)	8,742	1.14 (1.11-1.18)	8,549	1.12 (1.08-1.15)
妊娠、分娩および産褥ならびに周産期に発生した病態ならびに先天奇形,変形および染色体異常 (O+P+Q)	31	39	1.26 (0.76-2.09)	51	1.65 (1.03-2.66)	48	1.55 (0.97-2.52)
症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R)	4,439	3,644	0.82 (0.79-0.86)	3,333	0.75 (0.72-0.79)	3,200	0.72 (0.69-0.75)
損傷,中毒およびその他の外因の影響 (S+T)	5,329	5,454	1.02 (0.99-1.06)	5,442	1.02 (0.98-1.06)	5,707	1.07 (1.03-1.11)
特殊目的用コード (U) 新型コロナウイルス感染症	0	1,051	NA	3,933	3.74 (3.50-4.01)	12,791	12.17 (11.43-12.97)
傷病および死亡の外因 (V+W+X+Y)	82	41	0.50 (0.33-0.74)	56	0.68 (0.48-0.97)	25	0.30 (0.19-0.48)
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z)	37	23	0.62 (0.35-1.07)	19	0.51 (0.28-0.92)	24	0.65 (0.37-1.11)
不明	355	32	0.09 (0.06-0.13)	31	0.09 (0.06-0.13)	31	0.09 (0.06-0.13)

ICD-10：国際疾病分類第10版。

IRR: 罹患率比, CI: 信頼区間, NA: 解析対象外。

IRR^a：2020年 vs 2019年。

IRR^b：2021年 vs 2019年, ただし、特殊目的用コード (U)は 2021年 vs 2020年。

IRR^c：2022年 vs 2019年, ただし、特殊目的用コード (U)は 2022年 vs 2020年。

急病搬送入院症例における ICD-10 コードに基づく確定診断名別死亡件数の経年変化を示す（図表 84）。新型コロナウイルス感染症（U）死亡件数は、2020 年の 102 件と比較して、2022 年は 920 件（IRR 9.02; 95% CI 7.34-11.18）と有意に上昇した。他の疾患による死亡件数については、2019 年と比較して、2022 年は感染症および寄生虫症（A+B）（IRR 1.47; 95% CI 1.29-1.67）、内分泌、栄養および代謝疾患（E）（IRR 1.46; 95% CI 1.19-1.78）、循環器系の疾患（I）（IRR 1.10; 95% CI 1.05-1.16）、呼吸器系の疾患（J）（IRR 1.30; 95% CI 1.22-1.38）、消化器系の疾患（K）（IRR 1.38; 95% CI 1.22-1.56）、尿路器系の疾患（N）（IRR 1.58; 95% CI 1.34-1.86）などの多くの疾患で死亡数が有意に増加した。

（図表 84）死亡症例における確定時診断名

診断名 (ICD-10)	2019年	2020年	IRR ^a (95% CI)	2021年	IRR ^b (95% CI)	2022年	IRR ^c (95% CI)
感染症および寄生虫症 (A+B)	396	434	1.10 (0.95-1.26)	564	1.42 (1.25-1.62)	582	1.47 (1.29-1.67)
新生物 (C)	1,742	1,697	0.97 (0.91-1.04)	1,799	1.03 (0.97-1.10)	1,716	0.99 (0.92-1.05)
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D)	170	181	1.06 (0.86-1.32)	185	1.09 (0.88-1.35)	183	1.08 (0.87-1.33)
内分泌、栄養および代謝疾患 (E)	171	199	1.16 (0.94-1.44)	197	1.15 (0.93-1.42)	249	1.46 (1.19-1.78)
精神および行動の障害 (F)	7	3	0.43 (0.07-1.88)	0	NA	2	0.29 (0.03-1.50)
神経系の疾患 (G)	81	97	1.20 (0.88-1.63)	101	1.25 (0.92-1.69)	110	1.36 (1.01-1.83)
眼および付属期の疾患 (H00-59)	0	0	NA	1	NA	1	NA
耳および乳様突起の疾患 (H60-96)	0	1	NA	1	NA	0	NA
循環器系の疾患 (I)	2,875	2,762	0.96 (0.91-1.01)	2,913	1.01 (0.96-1.07)	3,173	1.10 (1.05-1.16)
呼吸器系の疾患 (J)	2,000	2,056	1.03 (0.97-1.09)	2,108	1.05 (0.99-1.12)	2,598	1.30 (1.22-1.38)
消化器系の疾患 (K)	468	474	1.01 (0.89-1.15)	571	1.22 (1.08-1.38)	646	1.38 (1.22-1.56)
皮膚および皮下組織の疾患 (L)	22	8	0.36 (0.14-0.85)	17	0.77 (0.39-1.52)	31	1.41 (0.79-2.55)
筋骨格系および結合組織の疾患 (M)	32	25	0.78 (0.44-1.36)	40	1.25 (0.77-2.06)	44	1.38 (0.85-2.24)
尿路器系の疾患 (N)	244	287	1.18 (0.99-1.40)	341	1.40 (1.18-1.65)	386	1.58 (1.34-1.86)
妊娠、分娩および産褥ならびに周産期に発生した病態ならびに先天奇形、変形および染色体異常 (O+P+Q)	1	1	1.00 (0.01-78.50)	0	NA	4	4.00 (0.40-196.99)
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R)	231	185	0.80 (0.66-0.98)	206	0.89 (0.74-1.08)	217	0.94 (0.78-1.14)
損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S+T)	128	143	1.12 (0.87-1.43)	137	1.07 (0.83-1.37)	182	1.42 (1.13-1.80)
特殊目的用コード (U) 新型コロナウイルス感染症	0	102	NA	568	5.57 (4.50-6.94)	920	9.02 (7.34-11.18)
傷病および死亡の外因 (V+W+X+Y)	2	0	NA	2	1.00 (0.07-13.80)	1	0.50 (0.01-9.60)
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z)	1	2	2.00 (0.10-117.99)	1	1.00 (0.01-78.50)	2	2.00 (0.10-117.99)
不明	20	3	0.15 (0.03-0.51)	2	0.10 (0.01-0.41)	3	0.15 (0.03-0.51)

ICD-10：国際疾病分類第10版。

IRR: 罹患率比, CI: 信頼区間, NA: 解析対象外。

IRR^a：2020年 vs 2019年。

IRR^b：2021年 vs 2019年，ただし、特殊目的用コード (U) は 2021年 vs 2020年。

IRR^c：2022年 vs 2019年，ただし、特殊目的用コード (U) は 2022年 vs 2020年。

【小括 (Category (3))】

65歳以上の高齢者の救急搬送件数、急病搬送件数、そして急病入院件数は、COVID-19 流行以前の2019年と比較し、2022年は2019年をやや上回る数字となった。その一方で、急病搬送困難件数は2019年と比較し、2022年は著明に増加した。また、急病搬送死亡件数は2019年と比較して、2022年は増加を示した。入院確定診断名については、特に新型コロナウイルス感染症 (U) による入院件数ならびに死亡件数は2020年以降に経年的な増加を示し、2022年には他の多くの疾患で死亡件数が増加した。

本解析結果から、新型コロナウイルス感染症流行は高齢者の救急搬送に対して大きな影響を与え、新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴い、その負荷が増大し続けていることが明らかになった。特に、急病の搬送困難数および死亡数は、2022年において第六～八波の各波の時期に大きく増加していた。これらの結果は、高齢者救急医療体制は病院前救護体制のみならず搬送後救急診療体制にも大きな負荷を与え、流行の波に強い影響を受けていたことを示している。

COVID-19の流行、特に流行が急激に拡大する波が、65歳以上の高齢者の救急搬送と受入りに影響を与えたことが明らかとなった。救急搬送傷病者数の約60%を65歳以上の高齢者が占めており、今後この状況は継続するため、2023年5月にCOVID-19は第五類感染症に移行したものの、流行の影響が2023年以降も残存するか否かについてはORIONデータを用いた分析が必要であると思われる。